

福音メッセージ 神に信頼する生活の幸い

伝道者の書 5章 1～9節

- 1 神の宮へ行くときは、自分の足に気をつけよ。
近くに行って聞くことは、愚かな者たちがいけにえを献げるのにまさる。
彼らは自分たちが悪を行っていることを知らないからだ。
- 2 神の前では、軽々しく心焦ってことばを出すな。
神は天におられ、あなたは地にいるからだ。だから、ことばを少なくせよ。
- 3 仕事が多ければ夢を見、ことばが多ければ愚かな者の声となる。
- 4 神に誓願を立てるときには、それを果たすのを遅らせてはならない。
愚かな者は喜ばれない。誓ったことは果たせ。
- 5 誓って果たさないよりは、誓わないほうがよい。
- 6 あなたの口が、あなた自身を罪に陥らせないようにせよ。
使者の前で「あれは過失だ」と言ってはならない。
神が、あなたの言うことを聞いて怒り、あなたの手のわざを滅ぼしてもよいだろうか。
- 7 夢が多く、ことばの多いところには空しさがある。ただ、神を恐れよ。
- 8 ある州で、貧しい者が虐げられ、権利と正義が踏みにじられているのを見ても、
そのことに驚いてはならない。その上役には、それを見張るもう一人の上役がいて、
彼らよりもっと身分が高い者たちもいるからだ。
- 9 国にとっての何にもまさる利益は、農地が耕されるようにする王がいることである。

神に信頼する生活の幸い

伝道者の書5章1～9節

2019/10/20 NCA

I. 「神は天におられ、私たちは地にいる」

1. 「天にいます私たちの父よ。」(マタイ 6:9)

原語の語順：父よ—私たちの—おられる御方—天に

親しさと馴れ馴れしさは同じではない

2. いけにえを捧げてはいるが、悪もやっている

安息日を守っているようで、守らなかったユダヤ人 Cf. キリスト、安息日に病人を癒やす

3. 仕事と神のどちらを優先すべきか

「仕事が多いと夢を見る」 楽しくやりがいがあるが、果てしない

神との約束は後回し

結果＝「手のわざが滅ぼされる」

神を優先することを経験を通して覚える

Cf. 権力者を擁護し、嘘の上塗りをした「優秀」な官僚たち：出世はしたが、尊敬を失う

「武士道」では、主君の悪を正さない家臣は「忠臣」ではなく「佞臣（ねいしん）」と呼ばれる。

4. 内村鑑三の「不敬事件」

- (1) 札幌農学校（現在の北大）で信仰を持つ
- (2) 官吏として活躍するも結婚生活に破れ、傷心をいだいて渡米
- (3) エルウィン白痴院で最下級の職員として献身的に働く
- (4) アマースト大学において、シーラー学長より「キリストを仰げ」と信仰の神髄を伝えられ、「第二の回心」を経験する。
- (5) 帰朝し、新潟北越学館の教頭に招聘されるも4ヶ月で辞職（宣教師団との対立）
- (6) 第一高等中学校（現在の東京大学）嘱託教員として歴史、地理、英語を教える。若き日の内村鑑三 人気絶大。
- (7) できたばかりの「教育勅語」奉読式（1891.1.9）において勅語への礼拝（最敬礼）を拒む。国家主義の観点から、「国賊」「非国民」と嘲られ、失職、長い失意の時代を過ごす。
- (8) 苦しみの中で書いた『基督信徒の慰め』、箱根での講演「後世への最大遺物（legacy）」により一躍注目を浴び、以後、日本の言論界、キリスト教界はもちろんのこと、日本全国に影響を及ぼし、全国から弟子入り志願者が絶えなかった。
- (9) 札幌農学校以来の親友、新渡戸稲造（第一高等学校校長、国連事務次長）の紹介により、多くの東大生が内村門下に。その中には東大総長、南原繁、矢内原忠雄らがいる。
- (10) 内村は忠臣であったか、佞臣であったか。教育勅語を称揚し、執拗に内村を攻撃した井上哲次郎はのちに「不敬罪」で失墜し、それまでの名誉をすべて失う（著書、焼却処分）



若き日の内村鑑三 人気絶大。

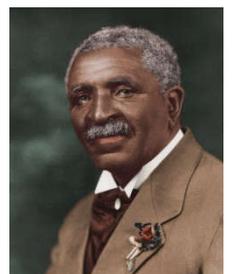
5. 神に従う、ということ

(1) 日本人にとっての神： ローカルな神（ワシントン、ロンドン、モスクワに神社はない）

(2) 聖書の神：すべての人の創造者→人間は神に対して自分の人生の説明責任がある。

私たちが神を知らなくても、神は私たちのすべてを知っておられる

マタイの福音書 10:28 からだを殺しても、たましいを殺せない人たちなどを恐れてはなりません。そんなものより、たましいもからだも、ともにゲヘナで滅ぼすことのできる方を恐れなさい。29 二羽の雀は—アサリオンで売っているでしょう。しかし、そんな雀の一羽でも、あなたがたの父のお許しなしには地に落ちることはありません。30 また、あなたがたの頭の毛さえも、みな数えられています。31 だから恐れることはありません。あなたがたは、たくさんの雀よりもすぐれた者です。32 ですから、わたしを人の前で認める者はみな、わたしも、天におられるわたしの父の前でその人を認めます。33 しかし、人の前でわたしを知らないと言うような者なら、わたしも天におられるわたしの父の前で、そんな者は知らないと言います。



II. 悪しき不平等と貧しさ 災いを益に

1. 明治20～40年 千曲川の氾濫 桑畑壊滅 豊穡な堆積土 県下有数のりんご産地に

2. アメリカのジョージア州 全米のピーナッツ生産の半分 ジョージ・ワシントン・カーヴァー